ふちゅう東西南北

あなたにとって秋はどのようなイメージ？

《WEB 特別記事》秋に向かって思うこと

「栗祭り」の思い出

色々な秋がありますが、私の中では「実りの秋」が一番です。特に私の好きな果物が旬なのです。秋の果物は、梨・ぶどう・ブルーベリー・柿・栗・りんごなどがあります。

秋になると甲州街道などに多摩川梨直販売所と書かれたのぼりをよく見ます。梨の栽培が盛んになったのは、多摩川沿いの土壌が梨の栽培に適していたからです。

秋に行われる大國魂神社の「栗祭り」、このあたりが栗の名産地であったのかなと？武蔵野の大地が栗の発育に適しており、保存食としても重要視され、上質の栗が採れることから徳川家に献納されるようになりました。栗の収穫時期と神楽の時期が重なり、いつしか「栗祭り」と呼ばれるようになりました。期間中には境内には、２００本ぐらいの行灯が灯されます。行灯に張られる奉納画は、昔市内の子供達に書いてもらっていたが、今は府中市芸術文化協会の会員が書いています。のわきには、奉納行灯が燈っています。栗祭りは、９月 27，28 日です。

（丸山まり子）

もうすぐ秋に・・・

このところの暑さで「秋」は遠い季節にしか思えません。それでも、もう暦では「立秋」をすぎ、時は流れていきます。そして今年もあと数ヶ月。

子供の頃は運動会 学芸会 発表会 展覧会など行事が次から次へとあり、楽しくもあり苦手でもあり。時間を長く感じていました。

大人になってからは家族や友人との行事などで「秋」を愛でる事も多くなりました。木々の葉が色を纏いながら風に流れていくのは歳を重ねてたどり着く感傷かもしれません。

そんな季節がこの頃の異常気象で四季がなくなるかもしれないとのニュース。

私たち人間の生活と自然の折り合いをどうしていくのが良いのかを考えるときが来ているのかもしれません。

（辻麻美）